

県北広域振興局

No.	名称		金額		事業コード			評価結果
	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
1	久慈市受精卵活用移植促進事業	久慈市	1,000,000	666,000	5 市町村事業	6 農林水産業	1 ソフト	畜産酪農業の振興・乳用牛飼育農家の経営安定と営農継続を図る観点から、受精卵移植技術を用いた乳用牛の改良は重要な取組であり、継続的に支援していく必要がある。
2	広域道の駅設計モニタリング事業	久慈市	2,893,000	1,928,000	5 市町村事業	3 観光産業	1 ソフト	広域道の駅整備事業はDBO方式による事業であり、当市では初となる事業方式であったため、企業グループが作成する設計が性能発注である要求水準を満たしているかを確認するノウハウの積み上げが必要であった。 本アドバイザー業務により、要求水準に対する達成状況の確認及び業務の進捗管理に関する手法の獲得の他、各種協議での根拠の確認やプロポーザル事業での契約変更の手順のアドバイスなど、限られた人数で進めなければならない業務の円滑化が図られた。
3	防犯灯台帳システム化事業	久慈市	12,683,000	5,090,000	5 市町村事業	10 環境	1 ソフト	来年度以降、実施する市有防犯灯の全灯LED化に資する基礎資料となったほか、台帳システム化による事務効率化も図られた。
4	漁業就業者奨励金交付事業	洋野町	400,000	266,000	5 市町村事業	6 農林水産業	1 ソフト	漁業者の高齢化や担い手不足等が課題となっており、奨励金を交付することにより就業意欲の高揚と担い手確保が図られた。
5	首都圏での洋野町魅力発信事業	洋野町	2,583,170	1,666,000	5 市町村事業	3 観光産業	1 ソフト	新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が全国的に進み、感染状況が落ち着いてきたタイミングで、一部イベントを実施することができたが、当初予定していたイベントの実施・参加が未執行となった。 PRイベントについては、直接関わりを持つことで、一定の効果があり、タウンプロモーションは継続性が重要であるため、コロナ禍においても開催方法や開催時期を工夫するなどして、町の魅力発信や関係人口創出に繋げていきたい。
6	洋野町にぎわい創造交流施設空調設備整備事業	洋野町	30,213,700	9,690,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	2 ハード	施設は令和3年11月から宿泊以外の利用を開始しており、貸事務所への企業入居のほかコワーキングスペースや会議室などの利用が進んでいる。 事業において各部屋に空調設備の設置ができたことで、施設の快適性が向上し、夏場等の施設利用や利用者の増加が期待できるほか、令和4年4月からスタートする宿泊受入れに関しても、冷暖房完備であることを対外的にPRすることが可能となった。

7	地方創生人材育成事業	野田村	462,000	308,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・野田村でのアクションに移したビーチクリーニングは、来年度の村事業(十府ヶ浦海岸活用促進事業)の一部に組み込み、スタートすることとした。海岸清掃はもちろんのこと、地元青年団体を基盤としてSET・その他交流層等を巻き込み、ユニフォームとともに関係・交流人口の拡大を図る。アクションが事業として実行されることで、アイデア実現のモデルになり、地域づくりの原動力にもつながる。 ・研修を通じて、公私ともに繋がっていきたく感じる関係性が生まれた。活動や業務に対して前向きに取り組みたいという気持ち、関係性を活用しながら村の未来を明るくしていきたいという振り返りがあり、人材育成としても成功したと考えている。 ・研修職員は2人とも入庁後8年のキャリアの職員であり、東日本大震災後に入庁した職員が半数を占める野田村において、中堅的な立ち位置で職員、そして地域を動かす人間となることを期待する。 ・来年度も本事業を継続し、地域課題解決のアイデアづくりと実行できる人材を育成したい。
8	青の国魅力情報発信事業	普代村	4,884,000	3,256,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	<p>本事業により、村内外への本村の産業、伝統・文化などの資源のPR、また、同時に村内のラジオ活用の推進も図ることができ、感想なども多くいただいた。また、車でラジオを聴いている人も多く、災害時に車で避難する際の情報収集手段としてラジオが定着してきていると感じる。</p> <p>次年度以降も引き続き「青の国ふだい」の情報発信の強化に取り組むことが予定されている。</p>
9	昆布ブラザーズ着ぐるみ製作事業	普代村	2,161,500	1,441,000	5 市町村事業	3 観光産業	1 ソフト	<p>老朽化した既存着ぐるみの補修・洗浄及び新規着ぐるみの製作が完了したことから、次年度以降に向けた各種事業・イベントなどにおける円滑な活用が期待される。</p>
10	相馬大作没後200年記念事業	二戸市	4,460,800	2,973,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	<p>新型コロナの感染拡大の影響により、予定していた一部の事業を実施できなかったが、相馬大作の生涯や功績等を後世に伝えるための取り組みを行うことができた。</p>
11	地域の誇りの醸成と宝の磨き上げによるまちづくり事業	二戸市	1,661,000	1,107,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	2 ハード	<p>リニューアルにより、地域住民の宝への関心が高まり、誇りの醸成が図られた。</p> <p>今後、来訪者への宝の紹介などを通じた交流促進を図る。</p>
12	シビックセンターモニュメント修復事業	二戸市	7,869,532	3,129,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	2 ハード	<p>多目的広場のモニュメント修復・データ化を行ったことで、故福田繁雄氏の作品を後世に残し、多くの方の来館が見込める科学館の実験装置の修繕を行ったことにより、市内住民や観光客の受け入れ態勢を整えることが出来た。</p>
13	キングオブチキン感謝祭開催事業	九戸村	2,998,368	1,998,000	5 市町村事業	6 農林水産業	1 ソフト	<p>参加店舗数が積極的に参加し、参加店舗が毎年伸びている。アンケート調査でもイベント継続を望む声が多いことから、事業者にも一定の効果があつたと考える。</p> <p>また、普段は閑散としている伊保内商店街に、まさかね館を中心に人が歩いている姿があつた。理由は強大オブジェと景品交換所をまさかね館に設けたことである。来年度も伊保内中心地に足をはこぶ目玉をつくり誘客したい。</p>

14	九戸村商店街賑わい事業	九戸村	1,047,200	698,000	5 市町村事業	4 地場産業	1 ソフト	コロナ禍であることから出店者が少ない結果となり、当初見込んだ規模の集客とはならなかった。次年度は、コロナの収束を見極めながら、商工会と協力し、定期的な開催と、出店者の確保に努めていく必要がある。
15	リサイクルステーション設置事業	九戸村	2,370,588	1,580,000	5 市町村事業	9 防災・危機管理	2 ハード	令和3年12月に運用開始して以来、住民から利便性向上に対して好評が得られていることから、利便性の向上が図られたと判断される。しかし、未だに資源となるごみの分別について理解できていない住民、ごみステーションとリサイクルステーションを混同し、資源ごみ以外のごみやコップ・陶器などの資源とならないごみを持ち込む住民など資源ごみに対する住民理解を得られていないことから、令和4年度以降はリサイクルステーションの設置目的や資源ごみの分別について、全戸配布等により分別意識の向上に努める。
16	プレミアム甘茶の商品開発及び甘茶製造機械購入事業	九戸村	2,700,900	1,800,000	5 市町村事業	6 農林水産業	2 ハード	設備の導入において、社会状況から機械製造に係る資材が確保できず、年度末の完了となったことで、今年度は十分な検証ができなかった。また、コロナウイルス感染症の影響により、商品開発を断念したことや来客数の減少により目標とした販売額を下回る状況となった。 今年度生産体制の強化が図られたことから、次年度においては、甘茶の知名度向上及び販売促進を目的とした事業展開を実施していく。
17	一戸町観光看板整備事業	一戸町	302,500	201,000	5 市町村事業	3 観光産業	2 ハード	諸般の事情により一部看板の事業は中止となったものの、近年岩手県企業局が設置した風力発電を見学する方々が増えている高森高原の観光地案内看板を整備できたことにより、見学者や来訪者の満足度向上を図れたとともに、観光地としての環境を整えることができた。
18	一戸駅案内交流スペース整備事業	一戸町	4,531,214	3,020,000	5 市町村事業	3 観光産業	2 ハード	新型コロナウイルス感染拡大による影響は大きかったものの、各メディアに取り扱っていただき、反響は大きかった。 今後は新型コロナウイルス感染収束後を見据えたプランニングを行い、町内外の多くの方々が集い交流する場として、引き続き開催し魅力向上に努めていく。
19	世界遺産登録に係る御所野縄文博物館観光客受入事業	一戸町	2,713,800	1,809,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	2 ハード	展示室等の音響映像設備更新により来場者が快適に見学できる状態を整えることができた。今後はさらに、フェイスブックなどのSNSを活用し、プロジェクト・マップ等の映像展示の魅力なども積極的に発信し、御所野遺跡や御所野縄文博物館の認知度向上を図っていきたい。
20	御所野縄文博物館ミュージアムショップリニューアル事業	一戸町	3,542,000	2,361,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	御所野縄文博物館ミュージアムショップリニューアル事業を通して、世界遺産の御所野遺跡や縄文文化の新たな魅力を創出するだけでなく、縄文時代から一戸町に続く伝統技術を見直すなど、世界遺産と町全体の魅力について、関係者で議論を深めるなど、意義深い事業となった。 今後も縄文文化や御所野遺跡と一戸町や東北地域の伝統技術に係る商品開発に、学術的な考察を加えるなど、新たな魅力や価値を創出できるような事業を目指していきたい。

21	御所野遺跡世界遺産登録記念魅力発信事業	一戸町	1,797,500	1,198,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	御所野遺跡世界遺産登録記念式典・祝賀会で出席者の記念品として、参加者にこれまでの世界遺産登録に伴うご尽力に謝意を表すとともに、改めて御所野遺跡の魅力や価値を伝えることができた。 写真集については、新たな試みということもあり、マスコミ等にも取り上げられ、一層のPR効果を挙げることに寄与できた。今後も御所野遺跡の特長である優れた景観や多角的な調査研究、そして何よりも地域一体となって整備や運営を行っていることを強みにしながら、今後も取組みを進めていく。
22	恐竜によるまちづくり推進事業	久慈市	1,300,646	867,000	5 市町村事業	3 観光産業	1 ソフト	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった事業もあったが、確実に「太古ロマンのまち」としての機運の高まってきている。今後、当該地域資源を活用した産業振興等への波及効果を目指し、引き続き事業を実施していくことで更なる効果が期待できる。
23	震災伝承アーカイブ事業	野田村	2,674,299	1,782,000	5 市町村事業	9 防災・危機管理	2 ハード	<p><震災伝承施設></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の事業において、震災伝承施設に足を運ぶ、回る、理解を深めるための基盤づくりとすることができた。来訪者の増加への取組を推進するとともに、上記成果でも触れた震災学習モデルコースづくりへの活用につなげたい。 ・本村の震災伝承施設の中には「野田村復興展示室(震災伝承施設第3分館)」のほか、「旧下安家地区応急仮設住宅」という特徴的な施設がある。仮設住宅の保存・展示という全国的にも数少ない、貴重な施設の魅力化向上(生活再現展示、ガイド等)することで、他の地域との差別化も図りたい。 ・震災から11年が経過し、特に初めての来訪者には、被災状況は目で見てほとんど分からない。他の被災地とも連携を図りながら、視覚的、聴覚的、精神的なガイドを研究し、来訪者とのギャップを減らすことも必要と思われる。また、本村で学ぶテーマ(避難、災害復旧、生活再建、復興etc.)も考える必要があるだろう。それら課題と向き合いながら、ウェブサイト・マップの活用や更なる向上(適時更新)にも取り組んでいきたい。 <p><被災写真></p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災写真活動は、応急仮設住宅の集会所やお祭りのストリートなど、人が寄り合う場所で写真返却お茶会という形で続いていた。しかし、生活再建とともにコミュニティの拠点も変化していること、新型コロナウイルス感染症の影響により大規模イベントが中止されていることから、街なかの震災伝承拠点である「野田村復興展示室」に移転したところである。昨年の野外上映会の翌日に開催した写真返却お茶会では1日に約1,000枚の写真が返却されるなど、映画「浅田家！」のその後がリアルに続いているシーンは大きな財産であり、写真保管・展示環境が整備できたことは今後の活動においても大きな意義がある。 ・被災写真等のデジタルアーカイブ事業については、写真をコンテンツとした新たな取組みとして注目を集めている。震災10年を機に、特にモノを保存する、返却する性質の震災伝承活動が少なくなる中、これまでの写真活動の継続だけではなく、発展形となっていることが本村における最大の特徴とも言える。プリント写真を基本としながらも、デジタル化することで写真の劣化対策、検索性の向上、スキャン作業と写真整理に集う人たちの写真でつながる展開全てが「野田村モデル」となり、村の、写真活動チームの知的財産のようなものにもなると考えている。 ・来年度は年間10回程度(月1回程度のペース)で複写作業を開催する計画であり、デジタル写真の数を着実に増加させるとともに、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、可能な限り村民等に参加し、たくよう告知展開していきたい。
24	地域の魅力を伝える「いわてカシオペアブランド」発信・交流事業	二戸市	511,934	341,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	カシオペアブランド協議会として、第2次の事業取り組みの初年度となったことから、事業計画や成果指標の策定についても試験的な実施になったと感じている。今年度の成果と課題を踏まえ、次年度についてはカシオペア地域の魅力を発信、そして魅力を波及させていくための人材育成という事業目的の達成に向け取り組みを展開していきたいと考えている。
25	地域の魅力を伝える「いわてカシオペアブランド」発信・交流事業	軽米町	172,365	114,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	カシオペアブランド協議会として、第2次の事業取り組みの初年度となったことから、事業計画や成果指標の策定についても試験的な実施になったと感じている。今年度の成果と課題を踏まえ、次年度についてはカシオペア地域の魅力を発信、そして魅力を波及させていくための人材育成という事業目的の達成に向け取り組みを展開していきたいと考えている。
26	地域の魅力を伝える「いわてカシオペアブランド」発信・交流事業	九戸村	108,373	72,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	カシオペアブランド協議会として、第2次の事業取り組みの初年度となったことから、事業計画や成果指標の策定についても試験的な実施になったと感じている。今年度の成果と課題を踏まえ、次年度についてはカシオペア地域の魅力を発信、そして魅力を波及させていくための人材育成という事業目的の達成に向け取り組みを展開していきたいと考えている。

27	地域の魅力を伝える「いわてカシオペアブランド」発信・交流事業	一戸町	239,453	159,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	カシオペアブランド協議会として、第2次のな事業取り組みの初年度となったことから、事業計画や成果指標の策定についても試験的な実施になったと感じている。今年度の成果と課題を踏まえ、次年度についてはカシオペア地域の魅力を発信、そして魅力を波及させていくための人材育成という事業目的の達成に向け取り組みを展開していきたいと考えている。
28	「縄文×漆」IGRラッピング列車運行事業	二戸市	2,995,795	1,997,000	5 市町村事業	3 観光産業	1 ソフト	メディアに大きく取り上げられ反響が大きかった。今後、沿線のみならず、運行ルートのJR線エリア(北上)や隣県の青い森鉄道(八戸)方面へラッピング電車により岩手県北の「漆掻き文化」「縄文遺跡」がより浸透し、列車利用等で県北部への来訪者の増加が期待される。
29	「縄文×漆」IGRラッピング列車運行事業	一戸町	2,995,795	1,997,000	5 市町村事業	3 観光産業	1 ソフト	メディアに大きく取り上げられ反響が大きかった。今後、沿線のみならず、運行ルートのJR線エリア(北上)や隣県の青い森鉄道(八戸)方面へラッピング電車により岩手県北の「漆掻き文化」「縄文遺跡」がより浸透し、列車利用等で県北部への来訪者の増加が期待される。
30	東京2020オリンピック聖火リレー関連事業	久慈市	1,284,680	856,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	聖火リレーは久慈市側の当日係員だけで120名を超える大型イベントであり、また、コロナ禍にあつては制限が多く、事業の実施は大変に厳しいものがあつた。一方で、市内ボランティアの参加や、市内の学生(長内中学校・久慈東高校)や山車組の出演、二十山親方のPRランナー招致など、住民の協力を得ながら事業を進めることで、より地域に根差した事業になったと感じる。来場者数もまずまずであり、沿道や会場もにこやかな雰囲気の中、大きなトラブルや事故も起こらなかったことから、イベントとして概ね成功したものと考えられる。
31	東京2020オリンピック・パラリンピック機運醸成事業	洋野町	1,198,876	713,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	聖火リレー及びパラリンピック採火式実施にあたり、懸垂幕や横断幕、のぼり旗の設置などで事前周知し、多くの町民に関心を持って参加してもらうことができた。また、東京オリンピックパラリンピック競技大会への機運を高めることができた。
32	野田村文化スポーツプロジェクト事業(聖火リレー事業分)	野田村	1,421,617	947,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	新型コロナウイルスによるイベントの自粛など閉塞的な空気のなか、聖火リレー及び聖火フェスティバルの開催は、村に明るい話題を呼び込んだものと感じる。村内外の各種メディアで取り上げられたことから、復興状況の発信にも十分な効果があつたと思われる。
33	東京2020オリンピック・パラリンピック機運醸成事業	普代村	548,000	365,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	様々な方々からの協力をいただき、無事事業を終えることができた。反省点として、聖火リレーにおいて手旗の数を400事前準備で用意していたが足りなくなった。しかし、開催することによって確実に東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成に貢献することができ、当村の良さをアピールする機会にも繋がった。類似したイベントの機会は多くないと思うが、大きなイベントの際には今回の経験を活かしていきたい。

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

34	東京オリンピック・パラリンピック関連事業	二戸市	817,686	545,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	新型コロナにより計画の変更を余儀なくされたが、万全な対策を行った上で、機運醸成並びに、オリンピック聖火リレー及びパラリンピック聖火フェスティバル関連事業を遂行したほか、市内小中学生への十分な働きかけを行い、反響を得られたと評価する。
35	東京オリンピック聖火リレーにおける都市装飾事業	一戸町	1,354,628	903,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	のぼり旗や横断幕をリレー走行ルート沿いに設置することにより、その周辺の雰囲気をよりよく目立たせる都市装飾を達成することができ、ひいては町内全体の機運の醸成に寄与することができた。またボランティアスタッフが同じポロシャツとキャップを着用することで、スタッフ全体の士気を高めることができた。同時にスタッフの統一性を持たせることで、沿道観客からのスタッフ視認性の確保を達成できた。
合 計			110,899,919	57,843,000				